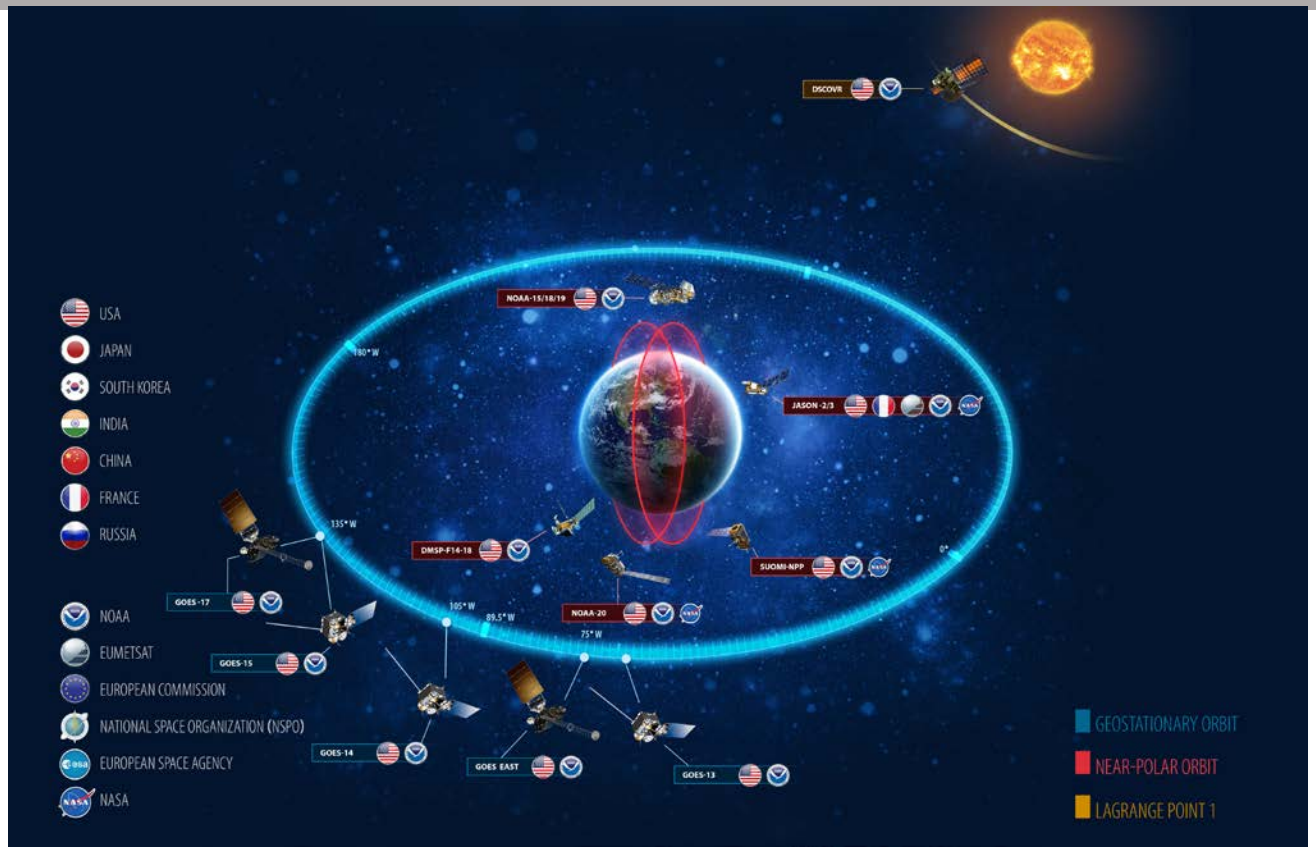
NOAAによる地球環境および気象の観測



NOAA（米国大気海洋庁）では、継続的な気象及び地球環境のモニタリングを実施しており、自身が保有する静止軌道衛星（GOESシリーズ）及び極軌道衛星（NOAAシリーズ）以外にNASA等の国内機関との共同開発（JPSS）や、海外との共同開発（JASON等）も行っており、さらに、全球のデータを収集するために日本をはじめとする多くの国とも連携している。

All rights reserved RESTEC 2017

Copernicusプログラム

欧州連合（EU）によるマネジメントの下で、SDG'sによるゴール設定を行っている。
Copernicusは大きく分けて３つのコンポーネントを連携してプログラムを推進している。

宇宙コンポーネント

衛星や付随する地上設備を含む宇宙からのリモートセンシングデータ収集の仕組み。
Sentinel衛星等の開発、打ち上げ、運用を行う。

サービスコンポーネント

各種ユーザに対する情報・データ提供サービス群。利用機関によるサービス提供
海洋環境監視、大気、気候変動、陸域監視、エネルギー管理、安全保障の
アプリケーションに分けて推進している。

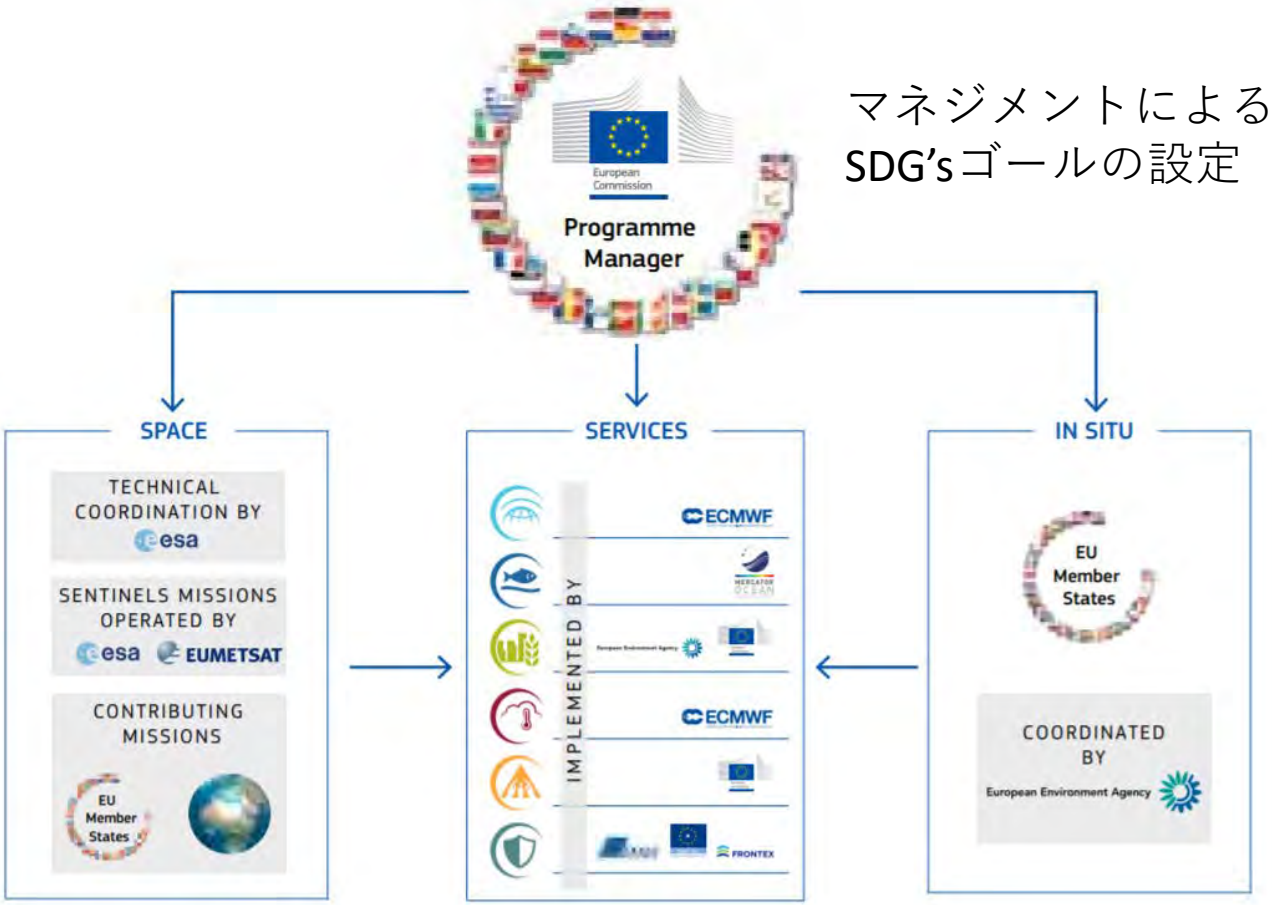
現場観測コンポーネント

海洋観測部位やIoT等、現場観測データ収集の仕組み

サービスコンポーネントによるアプリケーション利用要求に対応するために
様々なタイプの衛星が打ち上げられているとともに、他の国や機関のデータも活用する。
またサービスに必要な要求仕様などを衛星開発にフィードバックしている。

All rights reserved RESTEC 2017

Copernicusプログラム



マネジメントによる
SDG’sゴールの設定

ESA、EUMETSATによる
宇宙システム開発と運用

政府等の各種利用
サービス

現場観測収集の
調整・収集

All rights reserved RESTEC 2017